

令和5年12月3日に、四国の屋島や高松城等を巡る県外見学会（日帰り建築ツアー）が開催されました。

1. 屋島山上交流拠点施設「やしまーる」

この施設は、建築を通して、立地の地形的・環境的特徴を可視化させ、建築とランドスケープの一体化を図り、川のように流動的かつ躍動感のある建築物でした。

3次元的に蛇行させた複雑な屋根形状に仕上材として、庵治石瓦が敷設された他に例を見ない『新鮮さ』と『存在感』溢れる建物であり、設計者と施工者の高度なノウハウと技術力に圧倒されました。



「やしまーる」©SUO

2. 四国村（安藤忠雄ギャラリー）

屋島の山並みの一風景として、建物と自然が絶妙なバランスで融合された安藤忠雄氏ならではの、RC打放しのモダニズム建築でした。南側の通路には、大きなガラス開口があり、そこからの自然光が演出照明として、RC壁が恰も絵画のような錯覚をも感じさせる匠な仕掛けが施されていました。また美術館のバルコニーからは、立地を最大限に生かした段々状の「水景庭園」が臨むことができ四国村を現した1枚の絵葉書で語れるぐらいのビューポイントでした。



「四国村ギャラリー」©安藤忠雄

また四国村の散策道中では、円錐上の茅葺き屋根が特徴的な「砂糖しめ小屋」など多くの建物があり、当時の生活の営みや古き良き風景を肌で体感することができました。

3. 高松城跡桜御門

瀬戸内海に面した日本三大水城の一つである高松城の桜御門を視察し、古写真と礎石に残る柱跡等を手掛かりに、当時の建築技法を駆使した軸組工法等で、77年ぶりに修復作業が行われており、特に意匠面では、各柱・梁等を「手斧仕上げ」にて宮大工が一本一本手間暇をかけ、仕上げられた様は圧巻でした。



「高松城跡桜御門」

4. 香川県庁東館

戦後に建てられたモダニズムを象徴する庁舎建築であり、世界的な建築家である丹下健三氏の代表作の一つです。正面玄関（ピロティ）やロビーなどの県民に開かれた空間構成や受付カウンターや椅子などの家具類も含め意匠的に優れた歴史的価値の高い建物でした。また構造は、基礎下に「免震レトロフィット工法」による耐震補強が施されており、建物の外観を大きく変えることなく後世の建築家へのメッセージが込められた作品でした。

5. 所感



「香川県庁東館」©丹下健三

私自身、建築士会主催の見学会には初めて参加させていただきました。参加者の方々は設計事務所・ゼネコン・工務店・行政等の様々なジャンルに富んでおり、一緒に建物を巡りながら、情報交換する中で、建物を多面的に捉えることができ、学ぶことが多くとても実りある見学会でした。また、来年度も是非参加したいと思います。

表紙写真について

実践倫理宏正会竹原支部朝起会場

- 所 在 地／広島県竹原市中央3丁目
- 敷地面積／483㎡
- 建築面積／200㎡
- 延床面積／577㎡
- 構造規模／RC造一部S造 地上3階建
- 設計施工／(株)竹中工務店
- 撮 影／益永研司

一般社団法人の竹原支部の拠点である。計画地は広島県沿岸部のほぼ中央部に位置し瀬戸内海の豊かな自然と温暖な気候に恵まれている。朝日山を中心とした3方の美しい山並みと、海に囲まれた静かなまちに佇んでいる。住宅に3方囲まれた1・2階は、開口を最小限にすることで、シンプルな外観にした。明るさを抑えた落ち着いた内部空間と対照的に、3階は360度開口を設けて開放した。周囲の景色を取り込んだ竹原らしい空間は、早朝に明けていく朝の光とともに周囲の風景が少しずつ入り込み、とても清々しい気持ちにさせてくれる。時を重ねることで竹原の美しい景色が、利用者の原風景となることを願っている。



安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL (082) 228-2220 FAX (082) 228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL (084) 928-3979 FAX (084) 928-3974

ぷろじえくと ニュース

福山支部

福山市次期ごみ処理施設建設工事見学会 開催案内

この事業は、福山市内の老朽化が進むごみ処理施設4箇所を統合すると共に府中市、神石高原町との広域処理体制を構築するものです。今回の見学施設である廃棄物発電プラントを通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた社会課題の共有と解決意識の醸成を図りたいと思います。

- 日 時 3月2日（土）
▶第1回目 9：30～11：30（受付9：00）▶第2回目 14：00～16：00（受付13：30）建築専門向け
- 場 所 福山市次期ごみ処理施設建設現場（広島県福山市箕沖町107番14）
- 定 員 第1・2回目 各30人 先着順 合計60人（要事前申込）
- 参加費 無 料 申込方法 マンスリー2月号同封のリーフレットをご覧ください。



CPD 認定プログラム(2～3月の広島県内実施分)

2024年1月15日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
2/21	一級／二級／木造建築士定期講習（6D-08）	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/21	よくわかる！土質力学の基礎と応用	6	インターウェーブ	050-1790-1678
2/22	基礎から学べる建築士のAIセミナー	2	広島県建築士会	082-244-6830
2/27	第一種電気工事士定期講習（福山）2/27	6	日建学院	03-3988-6201
2/27	中大規模木造設計セミナー（木造低コスト化編）DVD講習	4	広島県建築士会	082-244-6830
2/29	第一種電気工事士定期講習（広島市）2/29	6	電気工事技術講習センター	03-5206-2720
3/ 1	大規模修繕「修繕の心得」講習会（DVD講習）	3	広島県建築士会	082-244-6830
3/ 2	福山市次期ごみ処理施設見学会	2	広島県建築士会福山支部	084-923-4820
3/ 2	福山市次期ごみ処理施設見学会	2	広島県建築士会福山支部	084-923-4820
3/ 5	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
3/ 6	一級／二級／木造建築士定期講習（6D-09）	6	広島県建築士会	082-244-6830
3/ 8	第一種電気工事士定期講習（広島市）3/8	6	電気工事技術講習センター	03-5206-2720
3/ 8	Archi Session 2024 Vol. 1	2	広島県建築士会	082-244-6830
3/12	第一種電気工事士定期講習（広島）3/12	6	日建学院	03-3988-6201
3/12	既存住宅状況調査技術者講習（更新）	2	広島県建築士会	082-244-6830
3/13	変革する工事現場！！建設DX活用で生産性向上ー令和5年度BIM／CIM変更点は・・・	6	インターウェーブ	050-1790-1678
3/14	技術セミナー「BIMによる建築情報の展望と課題」（広島）	3	建築設備技術者協会	082-244-1770
3/27	一級／二級／木造建築士定期講習（6D-10）	6	広島県建築士会	082-244-6830

指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第3号）

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています



ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608



建築確認・検査



構造計算
適合性判定

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します



住宅性能評価



定期報告

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務（フラット35）
- 調査診断業務（遵法性調査、定期報告等）
- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務

12条点検は弊社におまかせください



株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail：mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201
東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F
福岡支店：福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

呉地区支部では、2019年秋以来となる県外研修会を昨年11月25日からの1泊で行いました。参加者は15名、目的地は高知県です。

早朝に呉を出発したバスは、数回の休憩の後、高知県南国市の道の駅、南国「風良里」に到着しました。



南国「風良里」

こちらは昼食場所として訪れたわけですが、見ればなかなかユニークな建物です。太字のPのような平面形状らしく、RC・S・木の混構造とのことです。ここで井本会長も東京から合流され、全員が揃いました。

まずは香美市立やなせたかし記念館の見学です。アンパンマンミュージアムの愛称で親しまれるこの建物は、かつて呉地区支部会員だった古谷誠章さんの設計です。



当然ながら、子供連れではない中高年ばかりの団体客が他にいるはずもなく、大はしゃぎの子供たちに遠慮しながらの見学となりました。



メインの美術館はベンチを兼ねた大階段のある吹き抜け空間が特徴的であり、山の中腹にあるこの建物からは、前方に連なる山々だけでなく背後の山も見渡せます。その広々とした空間を取り巻くように配置された展示室と屋外階段によって、まるで迷路のような雰囲気を感じられました。



アンパンマンミュージアム

美術館の脇道を少し登れば横長の箱状の別館があります。この木造建築には、時間をかけて調達されたという木材が内部にもふんだんに使用されています。地味で小さな建物ではありますが、見どころは十分にあります。

続いての見学は高知県立牧野植物園です。自分たちもそうですが、朝ドラの効果はものすごく、県外ナンバーの多い駐車場はいずれもほぼ満車状態でした。

内藤廣さんの設計による牧野富太郎記念館は2棟で構成されており、本館の入口からウッドデッキの中庭を囲む

円形の大屋根を通り、展示館へと誘導されます。

地階から伸びる植栽を取り囲むC形のような展示館の中には、牧野富太郎氏の生涯の歴史や資料などが展示されています。



牧野富太郎記念館

植物の見分けもつかない自分にとって植物園自体はかなり退屈なものでしたが、2棟の記念館の集成材の小屋組など、建築として興味深い点は数多くありました。

翌朝の宿の出発後は日曜市の散策です。露店の並ぶ通りは非常に長く、朝食前に高知城までの同じルートを往復してきたメンバーは、少なくとも10km以上を歩いたことになります。



高知城

日曜市の後は高知県立坂本竜馬記念館の見学です。初めて入る新館は、オープンで明るい旧館と比較すると閉鎖的なイメージの落ち着いた空間であり、展示も充実していました。この新館の設計にも旧館の設計者である高橋晶子さんが加わっておられるそうです。

ただ、旧館の大きくせり出した先端からは相変わらずぐらりと太平洋の水平線が見渡せ、心が広がるような気持ちを味わえます。改めて、この旧館はロケーションを活かした傑作であると思った次第です。

桂浜の坂本竜馬像でお決まりの記念写真を撮った後は、土佐一ノ宮の土佐神社へ向かいました。こちらは見学ということではなく、どうやら締めくくりのパワースポットとして立ち寄ることになったそうです。

こうして帰路はすっかり遅めのお昼寝タイムとなってしまうしましたが、とにかく全行程が無事終了しました。時間的にももの足りない部分は若干あったものの、心地よい疲労感と充実感のある研修会でした。

呉地区支部の皆さん、支部行事への積極的なご参加をお待ちしています。



桂浜

2023年12月17日（日）、広島県木造住宅生産体制強化推進協議会主催、（一社）木を活かす建築推進協議会共催のもと、「和の住まい推進リレーシンポジウム in 広島」をYMCA国際文化センターで開催いたしました。急な冷え込みによる雪が舞い散る中での開催となりましたが、士会の会員をはじめ、多くの方にご参加いただきました。

講師には、手嶋保建築事務所の手嶋保氏をお招きし「一軒の家から」と題してお話いただいたほか、伝統技能の継承・育成、観光から見たまちづくり、木材（国産材）の活用等に関する施策や取組について国交省、観光庁、林野庁から発表いただきました。

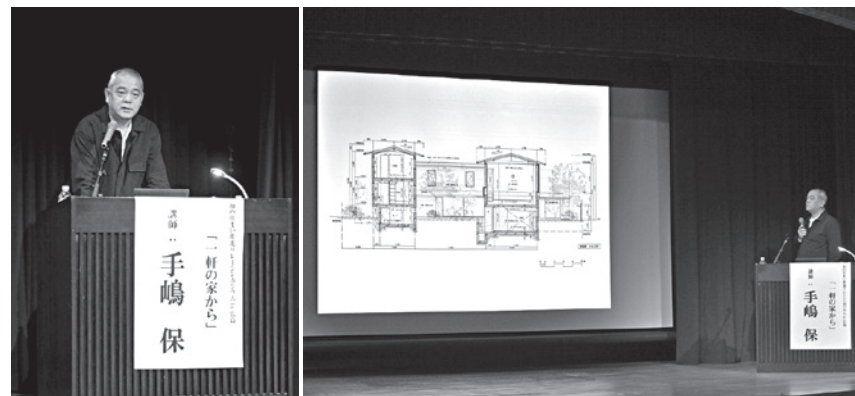
今回、講師としてお迎えした手嶋先生は、吉村順三設計事務所に勤務後、1998年に手嶋保建築事務所を設立し、住宅をメインに様々な建築設計に取り組まれています。また数多くの賞を受賞され、著書も手掛けておられます。

講演は、手嶋先生が近年手掛けられた7つの住宅を例に挙げ、その時々感じたことや想いを伝えてくださいました。設計図や写真をたくさん見せていただきました。どの窓からも緑が見え、自然光が美しく差し込む空間でした。「デザインは作り込み過ぎるとしんどい」と話をされる先生の携わってこられた建物は、華やかな装飾はないものの、建物が建つその場所に静かに溶け込む美しい佇まいでした。「一つ一つの建物が、時間が経つ程により、環境に合うようになるのがよい」と話されていたのが印象的でした。建物は長くそこに存在するものなので、年月と共に完成時より魅力が増すことは、とても理想的なことだと感じました。

また手の触れる場所には、普段気に留めないような日常のさりげない動作を拾い上げ、素材になじみの良い耳付きの無垢材を使う等の工夫により細部を作り込まれていました。材料は適材適所といわれることがわかる事例でした。材料についてもっと知るべきだと伝えられたことは、改めてモノを作るうえで大事なことだと気づかされました。

家具のデザインもされる手嶋先生は、自作の椅子の写真も多く見せてくださいました。現在、家具についてアトリエを営まれたり、書籍を作成中とのことなので、そちらもぜひ拝見したいと思いました。

「同じことを話さない、そのとき感じたことを話した



和の住まい推進リレーシンポジウム in 広島

「一軒の家から」

講師：手嶋 保 氏（手嶋保建築事務所）



い」と話される手嶋先生は、気取らない話し方で、時折笑いも起こりながら和やかな講演で幕を閉じました。また質疑応答も活発に行われ、真摯にお答えいただき、とても充実した時間でした。

今回はシンポジウムとして、各省庁からの発表により木造住宅を取り巻く環境等の情報を得ることもでき、盛りだくさんな内容となりました。

委員会は、対面とオンラインの両方で行い、運営について調整してきました。大きなトラブルもなく無事に開催することができました。

今後も建築士会は、関係団体様の協力の基、全国で活躍されている建築家をお招きし、このような住宅講演会を開催していきます。次回もご期待いただき、ご参加をお願いいたします。

